



ハントンの通信

いつまで続くか
不定期発行
No. 014

16-90177

ハントンカレンダーの使い方

ハントンでは、ハントンカレンダーというものを作成して利用者さんに配っています。

主にスケジュール管理に役立てて頂くためのもので、訪問看護の日や通院・通所の予定を書き込んで使ってもらっています。このカレンダーの特徴は作品紹介のスペースです。名付けてカレンダーアート。利用者さんやご家族さんが手作りの作品を写真で紹介しています。昔は季節の行事や塗り絵を載せていました。2010年1月から現在のカレンダーアートに落ち着きました。

作品は例えば絵画だったり書道だったり折り紙だったり、ぬいぐるみだったりコレクションだったり、ちよつと誰かに見てもらいたいものを紹介するので。このハントンカレンダーに載れば、他の利用者さんに見てもらうことができるので、これまで発表の場がなかった作品たちや利用者さんもイキイキとした表情になっていきます。カレンダーに載るかもしれないからと作品作りを始める人もいます。時々「私の作ったものなんてまだまだで」と遠慮する人もいます。家じゅう作品だらけなのに、カレンダー

に載せようと思いつかない人もいます。そういう時は「カレンダーに載せませんか？」と訪問看護師がこちらから提案するので。

手順は簡単で、まず作品の写真を撮り、添えるコメントも考えてもらいます。カレンダーにするために画像編集をするのですが、専用のソフトを使うのでここはハントンが担当します。そして作者の最終OKが得られれば完成です。実用（カレンダー）を兼ねているので、「役立てる感」があつて作者を満足させてくれます。ハントンは運営理念に「希望と安心をキーワードにしているのですが、このカレンダーも小さな希望になることを願っています。

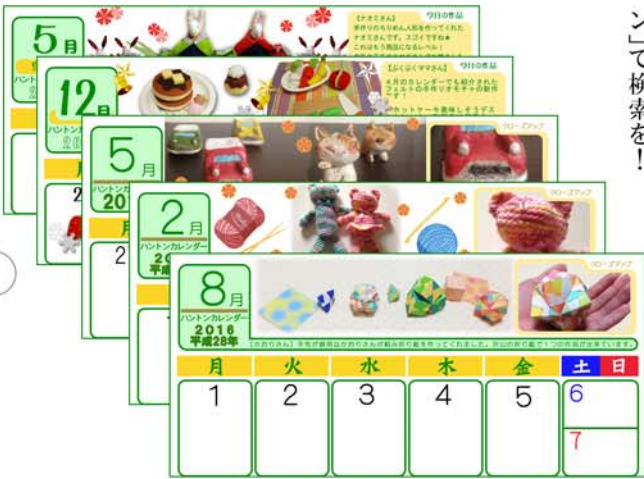
しかし時々、作品エントリーがなくて困ることがあります。そんな時はスタッフさんに出品してもらいます。すると案外スタッフさんたちも喜ぶのです。利用者さんたちとの話題にすることもできれば、「私もやってみよう」と一緒に紙粘土をこねることになったりするので。

一〇月二七日〜二八日に吹田市役所1階ロビーで、精神保健福祉パネル展が開催され、ハントンからはカレンダーとその作品を展示させていただきます機会があり

ました。利用者さんから再度作品を提出してもらって、作品とカレンダーを並べて展示しました。利用者さんやそのご家族からは予想以上に喜んでいただき、普段はあまり外出しない人も、市役所まで足を運んで見に行ってくれたりしたので。

地域で生活している当事者の方が、社会とつながることができると喜びと感じるのだと改めて感じました。自分という人間が作り出したオリジナルな作品を見てもらうことができること。感想を言ってもらえることができることは大きな喜びなのです。

※このカレンダーはハントンのホームページでも閲覧できるので、世界中の人が見ることが出来ます。閲覧だけではなく印刷して使うことも出来ます。「ハント」で検索を！



お知らせ

ハントンでは火曜と木曜に、精神科訪問看護を体験できる研修会を開いています。

ホームページ右下に申込書へのリンクがあります。

申込書

申込書はホームページからダウンロードできますが、ハントン事務所に普通に電話を下さってもかまいません。

私たちににとっては日々の事でも、研修生さんには新鮮だそうです。

PHOTO コーナー

ハントンは週に1回10分程度の勉強会をしています。名付けて、10分プリント！

日々の訪問看護で学ぶことも大切ですが、もちろん座学も大事。一つテーマを決めて、それについて全員で勉強します。この前は「障害者虐待防止法」について勉強しました。こういう時間を持つことを継続することが大切だと思っています。